

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

・ **視聴率動向**

17週連続で個人視聴率三冠、およびノンプライムとプラチナを入れた五冠を獲得している。コロナ禍において在宅者が急増しているため、視聴率は上昇傾向にある。どの局も昨年と比べて視聴率を伸ばしているが、当社はファミリー層をターゲットにしている番組が視聴者の方に受け入れられたようだ。4月から6月の1クールで1ポイント以上アップしている状況。

・ **土曜ドラマ『二月の勝者―絶対合格の教室―』放送時期について**

7月期に予定していた「二月の勝者―絶対合格の教室―」は放送延期を決定。放送時期は現在検討・調整中。

・ **水曜ドラマ『私たちはどうかしている』**

8月12日の放送開始を目指して準備している。

2. 営業状況

・ **放送収入**

4月期タイムは、レギュラーはほぼ前年並みで堅調に推移しているが、ゴルフ、プロ野球などスポーツの単発が減少した。スポットは前年比で大幅減となった。特にサービス、交通、レジャー、映画、化粧品、トイレタリー、飲料などコロナ禍での出稿の手控えが大きく影響した。

・ **放送外収入**

『今日から俺は！！劇場版』は非常にいい形でスタートし、先週末で興行収入も20億を超えた。昨年大ヒットし、日本テレビの実写映画の記録を塗り替えた『キングダム』を超えることを目指している。

一般のイベントはコロナ禍で中止せざるを得ない状況だったので、それぞれ復活時期を検討している。

3. その他

・ **新型コロナウイルスへの会社としての取り組み・対策**

ドラマの撮影を6月1日から再開するにあたり、16の部門別に構成した70ページの安全対策に関する「ドラマ制作マニュアル」を作った。

また、番組制作全体への対策として、当社の制作現場経験者の社員で構成した「安全対策チーム」を早い段階で立ち上げ、個々の番組からの相談に乗り、制約を課して、安全第一に制作してきた。

・ **24時間テレビの放送について**

24時間テレビは一度休止すると、電動車いすやリフト付きバスなどを毎年待っていらっしゃる方々に届けられなくなり、私たちの使命を果たせなくなってしまう。「24時間テレビ」の精神を番組で伝え、視聴者の皆さまから寄付を頂き、それをしっかりと一円残らず届ける事を実現するのが、放送局の使命と考えている。

今年コンセプトから考え直して、現在は企画を詰めている段階。国技館での対面募金が行わないなど、リスクを避け安全安心を第一に制作、放送していく。

・同時配信について

今年10月から12月にトライアルを実施する方向で作業を進めている。私どもが考える意義は、視聴環境が大きく変化中、テレビを持っていない、あるいはテレビを見る機会が少ないデジタルデバイスのユーザーの皆さんに対して、地上波のコンテンツとの接触機会をとにかく促進する、ということ。プライムタイムの番組で、特に権利者の許諾等々、ネットワークのコンディションにかなうものを配信する予定。

・TOKIOと「ザ！鉄腕！DASH!!」について

TOKIOには「ザ！鉄腕！DASH!!」等を通し当社を支えてもらってきた。グループと番組の方向性が非常にマッチしており、特に親近感のあるグループで感謝している。10月改編については「ザ！鉄腕！DASH!!」は継続を決定している。

4月以降、TOKIOは新体制となるが、新会社は、社会貢献を目指し、ファームづくり、日本のものづくり、町おこしなど番組でやってきた企画を形にしてSDGsなどに結び付けていきたいと聞いているので応援していきたい。

(了)

小杉 善信 代表取締役 社長執行役員

福田 博之 取締役執行役員